



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位: 億円)

日付	資金需給予想			主要要因	オペ期日	オヘスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
10/28 (月)	トン	+ 13,000	+ 13,000	国庫短期証券発行償還 (3M)	国債補充供給 + 6,700 社債等買入 ▲ 600 CP等買入 ▲ 700		
10/29 (火)	トン	+ 3,000	+ 3,000				米: 消費者信頼感指数 (10月)
10/30 (水)	トン	+ 1,000	+ 1,000		共通担保 ▲ 8,000		日: 日銀金融政策決定会合 (1日目) 米: ADP雇用統計 (10月) 米: GDP (3Q・速報) 欧: ユーロ圏GDP (3Q・速報)
10/31 (木)	▲ 300	▲ 1,700	▲ 2,000				日: 日銀金融政策決定会合 (2日目) 米: 新規失業保険申請件数 (26日終了週)
11/1 (金)	▲ 1,000	▲ 20,000	▲ 21,000	国債発行償還 (2年)			米: 雇用統計 (10月)

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、前営業日対比1兆7,400億円増加の549兆4,500億円から始まった。その後、国債発行等の要因により増減し、25日は548兆7,500億円 (速報) で越週した。

無担保コールON物加重平均金利は週初、0.227%から始まった。その後もビッドサイドの調達意欲は底堅く、同金利は横ばいで推移した。

ターム物は1W~3W物0.23%~0.30%のレンジ、1M~3M物0.28%~0.34%のレンジで出が見られた。

来週の予定は、国内では、10月30・31日に日銀金融政策決定会合が開催。海外では10月30日に米GDP (3Q・速報) の公表、11月1日に米雇用統計 (10月) の公表などがある。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	0.220 ~ 0.228
1M	0.28 ~ 0.45
2M	0.30 ~ 0.45
3M	0.30 ~ 0.45
6M	0.45 ~ 0.65

<レポ>

足許GC取引は週を通して+0.23%~+0.24%の出合いが中心となった。3m短国が発行された週末も、水準に変化は見られなかった。

SC取引は2年460~465回債、5年149~173回債、10年350~376回債、20年180~190回債、30年65~84回債、40年13~17回債などに引合いが多く見られた。

<CP>

今週の入札発行総額は約9,100億円で、週間償還額の8,800億円を上回った。発行残高は先週末時点の24兆4,778億円から、10月24日時点で24兆8,582億円に増加した。発行市場は、鉄鋼、ガス業、小売業、建設業などで大型の発行案件が見られた。入札案件の発行レートは銘柄や期間等によりばらつきが見られ、1M物から3M物で、0.25%から0.30%前半半までの出合いとなった。先週に引き続き、1M物の内、発行量の少ない銘柄については、政策金利の0.25%に限りなく近い値で推移している。

来週の償還額は、2兆1,500億円となっている。発行市場は、月末の大量償還に合わせる形でロール発行が見込まれ、活況なマーケットを予想する。発行レートは、1M物では0.25%近辺での出合い、3M超の案件については、0.30%を超える水準での出合いが散見されるであろう。

<TDB>

25日の3M (1265回債) の入札は、最高落札利回り0.0074% (前回債0.0074%)、平均落札利回り0.0011% (前回債0.0026%) となった。

来週の入札は、11月1日に3Mが予定されている。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	0.12 ~ 0.20
CP 3M	0.30 ~ 0.50